

地域教育懇談会だより

郡山市教育委員会

令和5年11月1日(水)

宮城中学校区・御館中学校区「地域教育懇談会」を開催しました

宮城中学校区・御館中学校区「地域教育懇談会」を11月1日(水)午後6時30分から中田公民館で開催しました。小学校、中学校、保育所の保護者や教職員、地域の皆様など、約60名の参加がありました。

前半は、小野義明教育長のあいさつに続き、学校管理課長が、宮城中学校区・御館中学校区の児童生徒数の推移と「今後の郡山市立学校の学校規模・学校配置のあり方について」説明しました。

後半は学校運営協議会やPTA役員の皆様の司会のもと、学校・地域・教育委員会による熱心なグループ協議が行われました。



グループ協議

後半のグループ協議では、宮城中学校区・御館中学校区の児童生徒数の推移から、今後の学校の在り方について、6つのグループに分かれ、様々な立場・視点から活発な意見交換が行われました。

地域の皆様から御意見をたくさんいただきました！

<A・Bグループ>

- ・これからの子ども達の教育環境を真剣に考える方が多い。いずれこのような話が出るとは考えていたが、大人達が、いろいろと手を尽くしていくことが大切である。
- ・統合については、早く検討してもらいたい。
- ・統合の前に、オンライン授業など、できることを考えてみてはどうか。
- ・現在、学校に通っている子ども達や保護者の意見が大事である。アンケート等を行い、多くの意見を反映していただきたい。
- ・いずれ高校や社会に出た際に、少人数の集団の中での生活経験だけでは、きついのではないか。
- ・部活動が心配。
- ・学校が統合されて無くなるのは反対。

<C・Dグループ>

- ・児童生徒数の推移については、厳しい数字かもしれないが、西田地区や湖南地区では、地域の思いを大切に、各校のメモリアルを残して合併になり、統合に3年以上かかったとこのことを聞いた。
- ・統合は賛成。人数が少ないと学び合いや切磋琢磨ということはなかなかできない。
- ・特別支援学級が作れないことに不平等感を感じる。
- ・小規模校、大規模校それぞれにメリットデメリットはあるが、少ない人数により、子どもに目が行き届く安心感がある。
- ・小学校3校を合わせても100人に満たない。数年後、中学校と統合しても人数は確保できず、他の地区へ転出が進むのではないか。
- ・バスは確保できるのか。

<E・Fグループ>

- ・高齢化が進み、若い方が少ない。統合以前に中田町の住民をいかに増やすか。住民、行政が力を合わせて、魅力ある町づくりのために根本から考えることが必要。
- ・海老根小においては、2年連続で入学生が0人であり、厳しい状況である。
- ・小規模校の良さとして、1人が何役もこなすことで力が付く。先日の学習発表会は素晴らしかった。
- ・小規模校の良さとして、一人一人に寄り添い、個別最適な学び、その子に合った教育ができる。
- ・統合を進めていく時期かもしれないが、中田町に学校がなくなってしまうのが心配である。
- ・タブレットを活用してオンラインで交流できないか。

➡グループ協議では、貴重な御意見をたくさんいただくことができました。今回の地域教育懇談会がきっかけとなり、学校・家庭・地域の連携がますます図られますよう、今後も御協力をよろしくお願いたします。

